

業務目的と業務分類	業務内容		業務担当主体		
	業務内容	業務内容の細目	県・埼玉県スポーツ協会	事業者	(仮称)スポーツ科学拠点施設総合調整会議(※1)
<b>I 効果的・効率的なアスリートの支援</b>					
運動能力の可視化/目標達成のための方法提供	運動能力の測定・分析・フィードバック・評価	競技団体、競技団体のない競技のアスリート、部活、プロチーム向けの測定から評価までのサービス	○	△	
		県民向けの測定から評価までのサービス	○	○	
		左記の業務を実施する専門家との調整	○		
		左記の業務を実施する競技団体との調整	○		
		左記の業務を実施する大学との調整	○		
	専門家との連携によるアスリートに対するサポート体制の構築・進捗管理・評価	サポート体制の構築	○		△
		サポート体制の進捗管理	○		
		サポート体制の評価・検証	○		
	競技団体が行うスポーツ科学を活用した強化策や競技普及策の支援	左記の業務を実施する競技団体との調整	○		
		競技団体のスポーツ科学の活用支援	○		△
測定データの活用	動作解析やゲーム分析の実施(体力測定、メディカル検査、動作解析用映像撮影、ゲーム解析用映像撮影)	左記の業務を実施する専門家との調整	○		
		左記の業務を実施する競技団体との調整	○		
		左記の業務を実施する大学との調整	○		
	取得データの活用	取得データの活用に関する競技団体のニーズ把握	○		△
アスリートの発掘・育成・強化支援並びにこれらを推進する人材の育成	アスリート発掘、育成、強化支援事業の実施	アスリート発掘、育成、強化支援事業の実施	○		△
		アスリート発掘、育成、強化支援事業の随時ブラッシュアップ	○		△
		アスリート発掘、育成、強化支援事業の評価・検証	○		△
		HPSCの支援が受けられるアスリートの育成	○		
	HPSCとの連携が可能な情報管理体制の構築	HPSCとの日常的な連携体制の構築	○		
競技継続、競技転向、ドーピング対策等の相談対応	アスリートからの相談対応	競技団体との調整	○		
		専門家との調整	○		
		上記に限らない相談機関などとの調整			△
	競技継続支援	アスリート・企業の登録の促進とマッチング	○		△
		各種競技団体からの相談対応	○		
	競技団体運営に係る相談対応	所属団体との調整	○		
		所属団体が属する機関などとの調整	○		
	暴力・ハラスメント等アスリートの競技生活に支障を来す事項に関する相談対応	所属団体が属する機関などとの調整	○		
		上記に限らない相談機関などとの調整	○		*
	<b>II 多様な競技のアスリートが集い高め合う拠点</b>				
競技団体等がデータを基に実践的なトレーニングや試合・合宿を行う場の提供	宿泊施設・レストラン事業者との連携による各競技団体に対する測定・強化合宿等の企画・提案	宿泊施設・レストラン事業者との調整	○		◎
		各競技団体との調整	○		◎
		交流の機会の企画	○		◎
		交流の機会の提案	○		◎
異なる競技間でのトレーニング方法の共有や交流等の機会の提供	宿泊施設・レストラン事業者との連携による合宿利用団体や施設利用団体間の交流の機会の企画・実施	宿泊施設・レストラン事業者との調整	○		◎
		交流の機会の企画	○		◎
		交流の機会の実施	○		◎
		地域スポーツ団体やプロチーム等との交流の機会の企画・実施	○		◎
合宿時の試合相手等のあわせ等による強化と交流等の機会創出	異なる競技間でのトレーニング方法の共有や交流等の機会提供、連携促進	○			
	異なる競技間でのトレーニング方法の共有や交流等の機会提供、連携促進	○			
競技スポーツ、地域スポーツ、部活動等の指導者の研修や、競技別、年代別トレーニングプログラムの開発	競技スポーツの指導者育成	○			
	地域スポーツの指導者育成	○			
	競技別、年代別トレーニングプログラムの開発	○			
<b>III 県内のスポーツ施設・大学等と結びつた機能</b>	競技別活動拠点や大学等とのネットワークの構築とそれによるスポーツ科学に関する知見の共有	県・スポーツ団体・大学・プロチーム等によるコンソーシアムの立ち上げ・運営	○		
		上記コンソーシアムにおいて、アウトリーチ・サテライト支援として取り組む事業、人材育成・交流のための手法、実施体制の協議と座組の構築	○		
		事業・手法・実施体制に係る提案	○		
		事業・手法・実施体制に係るコンソーシアム内での協議	○		
		左記に係る座組の構築	○		
	県内スポーツ施設や大学等と測定場所や測定機器の相互利用によるスポーツ科学の活用機会の創出	他の機能との協力による競技力向上に関する具体的な取組の実施と評価	○		
		他の機能との協力による人材育成に関する具体的な取組の実施と評価	○		
		他の機能との協力による県民への普及に関する具体的な取組の実施と評価	○		
	競技別活動拠点や大学等との連携による測定・データ分析・トレーニング指導等を行う人材の育成・交流の促進	県内大学との効果的な人材育成、人材交流の実施	○		
		研究機関(科学研究費補助金取扱規程第2条第1項第1号及び第4号並びに同条第4項の機関)についての検討	○		
<b>IV スポーツ科学の知見の普及</b>					
蓄積したデータを用いたスポーツ科学の知見の普及	HPSCとの連携が可能な情報管理体制の構築(再掲)	施設の事業、イベント、トレーニングプログラムや、県民健康づくり、子ども体方向向上のために活用されたデータ等の効果的な発信	※2	○	
		HP、SNS等を効果的に活用した日常的な情報発信	※2	○	
		広報計画の策定	○		
		県の媒体による情報発信(広報誌、チラシ、HP、SNS等)	○		※2
		事業者の媒体による情報発信(広報誌、チラシ、HP、SNS等)	※2	○	
	広報と運動したアスリートや事業に対する資金協力の促進	SSFFを活用した意思ある寄付の事業への展開	○		◎
		オンラインによる運動メニューの発信・イベントの開催等、県民誰もが参加しやすい機会の提供	○		
	オンラインにより、時間や場所の制約なく気軽にスポーツをする取組の企画・実施	取組の企画	○		◎
		取組の実施	○		◎
		公園施設全体を活用した誰もが参加しやすいイベント等の企画・運営	○		◎
取組の企画		○		◎	
取組の実施		○		◎	
教育機関やスポーツ団体等の個別蓄積データをスポーツ科学拠点施設で活用できる環境の整備/それらのデータを活かした競技力向上や子供の体力向上、県民の健康づくりのための活用	施設収益化につながる公園内の施設の有効活用(事業者提案に基づき実施)	○		◎	
	蓄積データを活用した子ども体方向向上事業の企画・実施	○		△	
	蓄積データを活用した県民の健康づくり事業の企画・実施	○		△	
	取組の実施	○		△	
県のスポーツに関する展示やスポーツ科学を体感できる展示等の実施/県民がスポーツ科学に触れる機会の提供	点在するスポーツレガシーの一括展示	○			
	トップアスリートの能力を体感でき、楽しみながらスポーツを学べる機会の提供	○			
<b>V 誰もがスポーツを楽しめる機会の提供</b>					
誰もがスポーツを楽しめ、健康づくりに資する機会等の提供	オンラインにより、時間や場所の制約なく気軽にスポーツをする取組の企画・実施	取組の企画	○		◎
		取組の実施	○		◎
		公園施設全体を活用した誰もが参加しやすいイベント等の企画・運営	○		◎
		取組の実施	○		◎
トップアスリート、プロチーム等を身近に感じる機会等の提供	バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球等プロチームの試合の開催又は係る主催者の支援	取組の企画	○		
		取組の実施	○		
スポーツ関連の産業活性化	施設収益化につながる公園内の施設の有効活用	地域活性化、県内経済の発展につながるプロチーム・企業・大学等との連携	○		△
			○		△
<b>各施設の利用調整</b>					
公募対象公園施設の利用調整	メインアリーナの利用調整	○	○	◎	
		○	○	◎	
		○	○	◎	
		○	○	◎	
		○	○	◎	
		○	○	◎	
		○	○	◎	
<b>各施設の維持管理</b>					
公募対象公園施設の維持管理	メインアリーナの維持管理	○	○		
		○	○		
		○	○		
		○	○		
		○	○		
		○	○		
		○	○		
<b>その他事業者による事業の実施</b>					
公募対象公園施設の運営	上記の「スポーツ科学拠点施設」に導入する機能に沿った業務IIに記載のないその他の運営業務	○	○		
		○	○		
スポーツ科学の視点を取り入れた県民対象の自主事業	自主事業の企画・実施	○	○		
		○	○		

※本表は県と事業者の業務区分に係る基本的な考え方・事業者の最低限の業務範囲を示したものであり、事業者からの業務範囲の拡張に係る提案を妨げるものではない。  
 ※凡例 ○:主分担 △:事業者による任意提案が可能なもの  
 ※1:「県」、「埼玉県スポーツ協会」、「事業者」を構成する事業者から人員を抽出し、本事業で整備される各施設や上尾運動公園内の各施設のイベントの実施や運営管理について総合調整する組織を想定。  
 凡例 ◎:会議体で所掌するもの  
 ※2:各媒体の情報発信を促進するため、相互に情報提供を行うこと。